

第 6 学 年 外 国 語 活 動 学 習 指 導 案

奄 美 市 立 奄 美 小 学 校
平成 21 年 6 月 18 日 (木) 2 校 時
男子 15 名 女子 20 名 計 35 名
指 導 者 HRT 高 司 杉 乃

1 単元名 Lesson 3 友達のたん生日を知ろう

2 単元について

(1) 単元の価値

これまでの「アルファベットで遊ぼう」や「いろいろな文字があることを知ろう」の単元で児童は、アルファベットの大文字や小文字の読み方、100 までの数の言い方について学習してきている。それらの言葉を知るだけでなく、簡単な英語を使ったあいさつやゲームに楽しく取り組む活動を通して、英語の学習と英語特有の音声や表現に興味関心を広げてきた。

そこで、本単元では、12 の月を扱い、それを表す英語に慣れ親しむとともに、日本ならではの季節や行事、諸外国と日本の行事の違いについて知ることをねらいとしている。また、自分と友達の誕生日を教え合ったり、自分の誕生月のカレンダーを作成して発表したりする活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることもねらいとしている。

このような活動を通して、自分に関係のある事を表現することが増えることで子どもたちは、英語で表現する楽しさや喜びが一段と増すことが考えられる。そして、さらに今後の活動に意欲的に取り組むことができると考える。

(2) 児童の実態 (調査日：平成 21 年 5 月 7 日 対象者：33 名)

[英語学習への興味関心]

① 英語の授業は楽しいですか。

ア 楽しい (30 名)

- (理由) ・ゲームとかいろいろな活動があるから (16) ・歌が楽しい (6)
・動物やいろいろな言葉が楽しく覚えられる。 (6)
・英語で話せるようになると思うから (6)
・英語を聞いたり言ったりするから (3) ・リズムに乗って学習できるから (1)

イ いいえ (0 名)

ウ どちらともいえない (3 名)

- (理由) ・あまり気にしていない (1) ・英語を覚えても意味がない (1)
・ゲームで負けるから (1)

② どんな活動が好きですか。(複数回答)

- ・ゲーム (33) ・歌 (20) ・言葉を覚える (17) ・外国の様子を知る (7)
・日本語とは違う発音練習 (3) ・話す (1)

[英語学習開始前の意識調査]

③ 英語を習うことについてどう思いましたか。

ア 楽しみ（21名）

- （理由）・英語で少しでも話せるようになるから （7）
・カルタやゲームなど楽しいのがあるから （6）
・英語を一つ一つ覚えたり，発音を学んだりするのが楽しいから （3）
・英語に興味があるから （2）
・外国の人と会話することができるようになりたいから （1）
・久しぶりに英語の授業が入ったから （1）
・知っている英語を言って自慢できるから （1）

イ 心配（8名）

- （理由）・しゃべれないかもしれないから （2） ・苦手だから （2）
・覚えられないから （1） ・分からないから （1） ・発音が悪いから （1）
・覚えられるかどうか分からないから （1）

ウ その他（4名）

- （理由）・英語に興味がないから （2） ・英語を習っても意味がないから （1）
・英語は嫌いだから （1）

④ 外国の言葉や文化について知ることは好きですか。

ア 好き（17名）

- （理由）・いろいろなことを覚えたら楽しいから （6）
・知ることはいいことだし，どんなことか知りたいから （5）
・日本と違うことを知るのはおもしろいから （2）
・日本にはないこともあるかもしれないから （1）
・外国に行ったときに役立つから （1）

イ 嫌い（4名）

- （理由）・外国のは意味が分からないから （1）
・外国のは覚えづらいから （1）

ウ どちらでもない（12名）

- （理由）・あまり興味がないから （10）
・外国の文化を知っても意味がないと思うから （1）

[本単元の内容]

⑤ 12の月を英語で言えますか。

- ア はい（1～7月） （1） イ いいえ（32）

[コミュニケーションの積極性]

⑥ 人と話すことは好きですか。

- ア はい （32） イ いいえ（0） ウ どちらでもない （1）

⑦ 初対面の人に，自分から話しかけられますか。

- ア はい （22） イ いいえ （11）

《考察》

本学級の児童は，ほとんどが英語学習に楽しく取り組んでいる。その数は，「英語学習開始前の意識調査」で「楽しみ」と回答していた児童数よりも増えている。しかし，3名の子どもは，今

の時点でも楽しさを見出せないでいる。それらの児童には、他のアンケート項目からは英語に関する不安が、普段の生活からは自信の無さを感じられる。そこで、毎回個別指導に当たったり、活動への取り組み方を褒めたりして英語学習への関心・意欲を高めることが大切であると考える。

言葉や文化に関する意識は、現在のところ高くない。これからの学習で、多様な文化の存在を知り、また、日本の文化と異文化との比較により、様々な見方や考え方があることに気付くとともに、我が国の文化についても理解が深まることが期待される。

「本単元に関する内容」12の月については、当然だがほとんどの児童が知識としてはない。それが不安材料にならないために、英語で誕生月や日にちの言い方を聞いたり、児童がお互いの誕生日を聞き合ったりする場を設定する。そのことが、コミュニケーションの楽しさを味わわせることにもつながっていくと考える。

「コミュニケーションの積極性」については、ほとんどの児童が人との会話を好んでいることが分かる。また、初対面の人に対しても自分から話しかけられる児童が2/3いることが分かる。しかし、全体の場となると、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童は、実際は多くは無い。そのためにも、まずは外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験させることが大切だと考える。

(3) 指導に当たって

「つかむ・みとおす」段階では、自分の誕生月や他の月を言ったり、多様な文化の存在に気付かせたりして、本単元への興味・関心を高めさせたい。

「活動する」段階では、チャンツやゲームを取り入れて、本単元に必要な英語に慣れさせていく。また、児童がお互いに誕生日を尋ね合う活動を通して、コミュニケーションの楽しさも味わわせたい。100までの数については、前単元で扱っている。しかし、日付を言う場合には数ではなくて序数となる。そこで、自分の誕生日を意識してCDを聞かせ、日本語とは違う言葉への興味関心も高めたい。

「広げる」段階では、インタビュー活動を行い、質問に対して自分の誕生日を答えさせる。児童がお互いに誕生日を伝え合う活動を通して、英語表現に慣れさせていきたい。

英語ノートについては、できるだけ活用し、できるだけ英語ノートの内容に沿ったものを扱っていく。英語ノートを活用することで、指導のねらいを把握したり、内容・単語をどの程度まで取り扱うのかという目安としたりすることができ、それが外国語活動の質的水準を確保することになると考えるからである。英語ノートに付属しているCDのネイティブな会話や英単語の発音は、初めは速くて聞き取れないが繰り返し聞くことで、慣れていくものとする。その際、CDから聞こえてくる音声やノートを使用することに新鮮さを感じ楽しく活動に参加できる児童がいる一方で、音声を聞き取れないことであまり興味を示さない児童もいる。そこで、英語ノートを使用する際は、実態に合わせて工夫していきたい。

3 目 標

- (1) 世界と日本の祭りや行事に興味をもつ。(言語・文化理解)
- (2) 積極的に友達に誕生日を尋ねたり、自分の誕生日を答えたりする。(コミュニケーション)
- (3) 英語での月の言い方や、誕生日の言い方に慣れ親しむ。(音声・表現)

4 指導計画 (全 4 時間)

〈本単元に関連のある言語材料〉

単語	January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December, 1～31の序数
会話表現	When is your birthday? My birthday is March 3rd. 等

過程	時間	目標	学習活動	教師の具体的な働きかけ	評価の視点 〈方法〉
つかむ・みとめ	1 (本時)	日本の季節の行事や特徴、英語での月の言い方を知る。	1 12の月の英語での言い方を知る。 2 英語ノートに国名と月の数字を書き込む。 3 Key Word Game をする。 4 Clap game をする。	○身近な誕生日から導入することで、月日の表現に興味をもたせる。 ○月名を繰り返し何度も聞かせる。 ○ゲームのやり方を実際に2人でして見せながら説明し、児童に十分に理解させる。	◎指導者の後について、月を表す単語を言おうとしている。 〈行動観察〉
活動する	2	日付などの序数の言い方を知り、自分の誕生日の言い方を知る。	1 チャンツをする。 2 Missing Game をする。(隠された絵カードを当てる。) 3 英語ノートのカレンダーに自分の誕生日を書き、誕生日の言い方を知る。 4 自分の誕生日を答える。	○月絵カードを1枚隠す。慣れてきたら、隠すカードの数を増やしていく。 ○既習の数字と日付との違いに気付かせる。 ○誕生日まで答えるのは難しいので、誕生月を答えることをねらいとする。	◎自分の誕生月を言う。 〈発表・観察〉
	3	誕生日の聞き取りをして、カレンダーを使って紹介する。	1 Stereo Game をする。(選んだカードの月を大きな声で言う。) 2 英語ノートに出てくる家族とカレンダーの月日を紹介する。 3 CD を聞いて、名前の下に誕生日の番号を書く。 4 自分の誕生日を答えたり、友達に誕生日を尋ねて英語ノートに書いたりする。	○12の月の言い方を想起させる。 ○家族の言い方に初めて触れるので、何度も聞かせる。 ○When is your birthday? My birthday is～を何度もさせる。	◎誕生日を尋ね合う活動を通してコミュニケーションの楽しさを味わう。 〈行動観察・英語ノート〉

広 げ る	4	誕生日 の聞き取 りをして、 オリジナルカレン ダーを作 る。	1 自分の誕生月か自分の 好きな月を1つ決め、カレ ンダー作りに必要な部品 を受け取る。 2 学習したことを生かし てカレンダーを作る。 3 オリジナルカレンダー を発表する。	○材料は事前に用意して おく。(カレンダー台紙、 絵カード、日付) ○発表内容を事前に知ら せる。(例：名前、自分の 誕生日 or 好きな月、行事、 好きな季節など)	◎お互いに誕生 日を尋ね合 い、カレン ダーを完成する。 〈行動観察・発 表〉
-------------	---	--	---	---	--

5 本 時 (1/4)

(1) 目 標

〈言語・文化理解〉

- ・ 日本の季節の行事や特徴を知るとともに、世界には様々な民族がいて、それぞれの行事を楽しんでいることがわかる。

〈コミュニケーション〉

- ・ 12の月の英語を積極的に聞いたり、話したりする。

〈音声・表現〉

- ・ 1月から12月までの英語に慣れ親しもうとする。

(2) 指導に当たって

「つかむ・見通す」段階では、6月生まれの誕生者と教師の会話を紹介して、自分の誕生月に興味をもたせる。また、単元全体の流れを伝え学習の見通しを持たせる。それらの活動を通して、12の月を英語で言うことを学習する必要性を感じ取らせたい。

「活動する」段階では、自分の誕生月にはどんな行事があるのか興味をもたせ、英語での言い方に十分慣れ親しませる。また、外国の季節や行事にふれることで、日本ならではの季節や行事に改めて親しませるとともに、諸外国と日本との違いに気付かせたい。

英語での月の言い方については、CDを聞いたりチャンツをしたりするだけでなく、ゲームを取り入れて楽しんで学習ができるようにする。一つ目のゲームは、各月の行事や特徴的な出来事が描かれたカードと12の月のカードを合わせるものだが、外国の文化について知ることへの興味関心が比較的低い本学級の児童も、ゲーム形式にすることで意欲的に参加することが期待される。2つ目のゲームは、「聞くこと」を重視したゲームである。後々発音したり、話したりするためには、十分にインプットすることが大切であり、それらの活動を通して、自分のものとして習得できると考えるからである。3つ目のゲームは、発音することを重視したゲームである。いきなり個人で取り組むのは抵抗があると思うので、最初は全体でし、次にグループ、列と徐々に人数を減らしていく。そして、最後に個人でできる子どもたちに発表させ、その意欲を賞賛する。どのゲームもポイント制にして、意欲的に取り組めるようにするが、「できた」場合だけでなく、仮に間違っただとしても、各ゲームにおいて全体の前で個人あるいは少人数で取り組んだ児童の意欲にもポイントを与え、積極的に参加しようとする意欲を高めたい。

「広げる」段階では、6月生まれ以外の児童に誕生月を尋ねたり、児童がお互いに誕生月を聞き取ったりする活動を取り入れて、学習の成果を実感させるとともに、コミュニケーション

の楽しさを味わわせたい。そして、最後に次時の予告をして次の活動へと意欲をつなげたい。

(3) 実 際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ・評価	必要な教具
つか む・ 見通 す	1 はじめのあいさつを する。 ・友達とお互いにあい さつを交わす	7 分	○笑顔で楽しい雰囲気づくりをし、あいさつ をする。	あいさつカ ード
	2 学習のめあてを知 る。 (1) 6月の英語での言 い方を知る。 ・6月生まれの児童は、 呼ばれたら前に出てき て英語で答える。 (2) 誕生日の歌を歌う。 (3) 本時のめあてを知 る。 英語での月の言い方 を知ろう。		○前日は誰の誕生日だったか問いかけ、12 の月の表現に興味をもたせる。 ○前日誕生日だった児童に誕生月を尋ね、6 月の英語での言い方を教える。 ○6月生まれの他の2人にも同じ質問をし て「June」と答えさせる。 ○学級でも歌い慣れている誕生日の歌を歌 って楽しい雰囲気作りをする。 ○他の月を何と言うのか投げかけ、本時のめ あてを確認させる。 ○単元の見通しを持たせるために、単元全体 の流れについてもふれる。	6月のカー ード
活動 する	3 学習の順序を確かめ る。	28 分	○学習の順序を提示して確かめながら進め る。	めあてカー ード 学習の順序 カード
	4 Let's Listen (p.16) ・ CD を聞いて12ヶ 月の言い方を練習する。		○デジタル教材を使用して12の月を聞かせ る。一度聞いた後に、練習させる。	英語CD プロジェク ター
	5 Let's Play (1) Matching game ・ゲームの説明を聞く。 ・月の行事や特徴を表し た絵と月を線で結ぶ。 (英語ノート p.16) ・CDを聞いて、どの国で 何月に行われているか 行事を考えて()に 国名、□に何月かを書 く。(英語ノート p.17)		○どのゲームも児童が内容をきちんと理解 できるように、ゲームの進め方を実際に見 せる。 ○ポイント制にして意欲的に取り組めるよ うにする。 ○12枚の絵を見せ、一枚ずつ何を表してい るか、児童から答えを引き出しながら確認 していく。 ○他の国の季節や行事についてもふれ、日本 と諸外国の違いに気付かせる。その際、す ぐにCDを聞かせるのではなく、3つの PCの行事の様子を質問しながら紹介す ることにより、CDの内容を想像し、興味を 起こさせるようにする。 ○できるだけ自力で聞き取れるように、国名	英語ノート PC (ピクチャ ーカード 日本) PC (外国) 英語ノート

広げ る	(2)Key word game (3)Clap game 6 Activity ・できるだけたくさんの友達の誕生月を聞いたり答えたりする。 7 学習のまとめをする。 ・振り返りカードに記入する。 ・感想を発表する。 8 終わりのあいさつ ・次時の活動を知る。	10 分	の部分と月の部分に分けて聞かせたり、ヒントを出したりしながら聞かせる。 評：日本の季節の行事や特徴を知るとともに、世界には様々な民族がいて、それぞれの行事を楽しんでいることがわかったか。 （行動観察） ○担任が言う月をよく聞かせ、それを必ずリピートさせる。 ○まず、教師対全体でして、グループ、列、個人と徐々に人数を減らし、個人の発声により聞き取れるようにする。 評：1月から12月までの月の英語に慣れ親しもうとしたか。（行動観察） ○誕生日の聞き方や答え方に慣れさせたり、コミュニケーションの楽しさを味わわせるために、より多くの友達とかかわらせる。 ○少しでも聞き取れたことを褒める。 ○覚えた英語を復習して学習したことを確かめる。 ○ふりかえりカードに記入する。 ○楽しく学習できたことを中心に感想を発表させほめる。 ○次時は、日付の言い方を知ることを知らせる。 評：学習に意欲的に参加することができたか。（ふりかえりカード）	ふりかえり カード
-----------------	--	-----------------	--	----------------------

※ ゲームの進め方

《Key Word Game》

- ・ペアで向かい合って座らせ、二人の間に消しゴムを置く。p.16 の月から担任がキーワードを選ぶ。（例：July）
- ・担任が言った月を児童は2回手をたたいて言う。それをいくつか繰り返す。担任がキーワードを言ったら、児童は繰り返さずに消しゴムを素早く取る。

《Clap Game》 ×・・・Clap

- ・手を叩きながらリズムにのり、クラス全員で単語の発音練習をする。
- 〈例〉××one two, ××one two, ××January February, ××March April,・・・
- ・最初は全員で、次はクラスを半分、列ごと、個人と1グループの数を減らしていく。
- ・第2時以降は、個人戦を勝ち抜きにしたり、全員参加で行ったりする。